

Webデザイナーへの道 概論
「htmlの構造を崎陽軒のシウマイ弁当で考える」
2020.0627

熊坂諭 著

はじめに

「なんで弁当の話をするんだ？この男は！」と思わないでください。
「htmlの話をしてくれ」と思う方もいることでしょう。
しかし、ここは敢えて弁当の話をします。
そんなこんなでお付き合いいただけすると幸いです。

熊坂諭



崎陽軒のシウマイ弁当って食べたことはありますか。横浜生まれの横浜育ちのお弁当です。私は大好きです。まあそれはひとまず置いといて。

どんなお弁当か、とりあえずフタを開けましょう。



出た。

これがシウマイ弁当です。

常温で食べることを前提に設計されたお弁当です。これ、私、時々食べたくなります。

飲み屋で仲間とお酒を飲んでいるときに話題になりまして、シウマイ弁当の中身の盛り付けをノートに図解して描いて、笑われたことがあります。

まあ、それはそれとして。

ところでこのシウマイ弁当。食べる前に、それぞれの機能を見ていきます。

シウマイを機能別に見ていくという頭の体操です。



シウマイ弁当を、機能別に見ていく頭の体操。

5分くらい考えて、自分なりの答えを考えてみてください。

5分後に次のページで私（クマサカ）なりの考え方を解説します。



クマサカなりの回答。

栄養学?的な機能も踏まえて考えた結果を下記に示しますね。

No	分類	栄養学的機能
1	赤枠・ご飯	主食
2	青枠・おかず	主菜・副菜
3	緑枠・醤油	調味料

こんな考え方を踏まえて次のページに進んでください。

ポカリスエット基本情報



特長

発汗により失われた水分、イオン(電解質)をスムーズに補給するための健康飲料です。

体液に近い成分を適切な濃度で含んだ電解質溶液ですので、体内にすばやく吸収されます。

そのため、スポーツや仕事のとき、お酒を飲んだ後や入浴・就寝の前後など、様々なシーンにおいて渴いたからだを潤すのに適しています。



ポカリスエットのスマホ用のWebサイトを一部プリントスクリーン（抜粋というか）しました。

No	分類	栄養学的機能	Html的機能
1	赤枠・ご飯	主食	
2	青枠・おかず	主菜・副菜	
3	緑枠・醤油	調味料	

で、前ページのお弁当の図を踏まえて、上の表の「html的機能」の空欄を埋めてみてくださいで左のポカリスエットサイトの図をそれぞれ赤枠、青枠、緑枠で囲ってみてください。

で、5分くらい考えたら次のページへ進みましょう。

（やっと、Webデザインの話に近づいてきたかな。）ちなみに今回題材としているサイトは2020年6月のサイトです。リニューアルされたら変わっちゃいます。

ポカリスエット基本情報

特長

発汗により失われた水分、イオン(電解質)をスムーズに補給するための健康飲料です。

体液に近い成分を適切な濃度で含んだ電解質溶液ですので、体内にすばやく吸収されます。

そのため、スポーツや仕事のとき、お酒を飲んだ後や入浴・就寝の前後など、様々なシーンにおいて渴いたからだを潤すのに適しています。

A



B

ポカリのサイトをざっくり分類

No	分類	栄養学的機能	Html的機能
1	赤枠・ご飯	主食	文章
2	青枠・おかず	主菜・副菜	画像
3	緑枠・醤油	調味料	動き

赤枠で囲ったところが文章ですね。
青枠が画像、ポカリスエットのサイトですから主菜。
(メインディッシュと言っても良い)
で、緑枠です。この資料では動かないんですけど
「A」を押すと、「メニュー」がヒュルヒュルと登場します。
「B」を押すとヒュルヒュルと画面が上にスクロールして、ページのトップへ戻ります。
つまり動きを付けているということになります。

参考：<https://pocarisweat.jp/products/>



さて、ふたたびシウマイ弁当に登場してもらいます。
Webデザイナーの役目をお弁当に当てはめて考えます。

「ご飯（主食）=文章」は誰が作るのか？
→Webライターです。米は農家が作り、ご飯を炊くのは
ご飯炊きプロが崎陽軒にはいると推測します。

「おかず（主菜・副菜）=画像」は誰が作るのか？
→写真家やイラストレーター、グラフィックデザイナー
です。シウマイプロフェッサーや、副菜の専門家が崎陽
軒にはいると推測します。

「醤油（味に変化を加える）=動き」は誰が作るのか？
→フロントエンドエンジニアです。醤油メーカーです。
崎陽軒専用のオーダーメイドではないかと推測します。

「弁当箱（弁当の仕切り方・盛り付け方）=レイアウト」は誰が作るのか？
→Webデザイナーです。（おっ。やっと出た。）
ハイパーな盛り付け師は崎陽軒に絶対いると確信してい
ます。（確認したことないけど）



で、まとめます。

1. Webライター
→文章を作る。

2. 写真家、グラフィックデザイナー、イラストレーター
→画像を作る。（あっ、そうだ。動画も背景に使われているケースも多いので、ビデオグラファーも最近は多いですね。）

3. フロントエンドエンジニア
→動きを作る。

4. Webデザイナー
→配置を作る。すなわち配置職人。文書の配置職人です。

上記に示した「1」はとっつきやすいと思います。
「ビジネス文書の書き方」みたいな本を1冊読んで、文章の整理を学べば良いかと。
「2」は趣味でやってるんなら、それを活かしてください。



で、解説します。

1. Webライター

→はとつきやすいと思います。

「ビジネス文書の書き方」みたいな本を1冊読んで、文章の整理を学べば良いかと。

2. 写真家、グラフィックデザイナー、イラストレーター

→趣味でも良いので、それを活かしてください。

3. フロントエンドエンジニア

→「4」になってから学びましょう。

4. Webデザイナー

→今から、学んでいきましょう。

で、1～4を身に付ける（中途半端でもイイです。）と「久地アバウト」のようなへんてこりんなWebサイトをひとりで作れるようになります。

<http://www.kujiabout.net/>

続く。